

COM・APS (先進的スケジューリング) 研究部会終了報告

01404650	法政大学	西岡 靖之	NISHIOKA Yasuyuki
01012600	東洋大学	*今泉 淳	IMAIZUMI Jun

1. はじめに

本研究部会は、日本経営工学会(主査:青山学院大学黒田充, 幹事:上智大学 伊呂原隆)及びスケジューリング学会(主査:青山学院大学黒田充, 幹事:東芝 成松克己)との合同研究部会であり、2001年4月に発足、現在(2004年1月)までに、合計27回(予定も含む)の研究部会を開催し、延べ700人の参加者があった。本稿では、本研究部会の終了報告として、活動状況の概要を報告する。

2. 活動状況

以下に毎回の開催日、テーマ、講演者、参加者数を記す。

第1回(2001年4月19日)

APS(先進的スケジューリング)チュートリアル, 西岡靖之(法政大学工学部経営工学科), 39名

第2回(2001年5月24日)

SCORとBPRツールによるAPSのプロセスモデル化と活用, 中山健(日立東北ソフトウェア株式会社), 32名

第3回(2001年6月14日)

APSにおけるメタ製番管理方式の概念と事例, 奥村直正(e-マニファクチャリング株式会社), 20名

第4回(2001年7月19日)

制約プログラミングは計画系システム開発に役立つか?, 山崎雅史(アイザック技術開発部), 19名

第5回(2001年9月27日)

SCMにおける全体最適モデルとAPSの考察, 川内辰宏(プロセス経営研究所), 24名

第6回(2001年10月19日)

ロバストスケジューリングとプランニング, 宮下和雄(産業技術総合研究所), 17名

第7回(2001年11月30日)

工場におけるサプライチェーンを支援する製品の紹介, 萩倉文子(株式会社エフ・エフ・シー産業システム統括部SCMソリューション部), 18名

第8回(2001年12月21日)

スケジューリング最適化エンジン-RCPSPによるアプローチ, 野々部宏司(京都大学大学院情報学研究科数理工学専攻), 18名

第9回(2002年1月19日)

TOC/DBR ヘイスタックシンドロームに学ぶ/DBRを用いたSynchronization Engineの紹介, 村上悟(日本能率協会)/門田善裕(マピックス(株)), 24名

第10回(2002年3月16日)

APSの実現に必要な方法および技術に関する考察-統合オペレーションG2研究会の内容をもとに-/APS, パッケージのロジック構成からみた分類法, 荒川雅裕(関西大学工学部)/黒田充(青山学院大学理工学部), 21名

第11回(2002年5月23日)

実務から見たスケジューリング機能と役割への期待, 田尻隆二郎(MASPアソシエーション), 41名

第12回(2002年6月27日)

出鋼順自動編成システムの開発, 藤井聡(NKK基盤技術研究所計測制御研究部), 21名

第13回(2002年7月11日)

PS版生産計画&スケジューリングシステムの開発, 高田真好(三菱化学株式会社科学技術研究センター), 26名

第14回(2002年8月29日)

Constraint Programming in Scheduling:no silver bullet, F.Katai(ILOGCo.,Ltd), 30名

第15回(2002年9月30日)

GERMによるスケジューリング問題記述の特徴と応用-あるAPSシステムの問題記述を例として-, 関口恭毅(北海道大学大学院経済学研究科), 14名

第16回(2002年10月31日)

プロセス製造業向けAPSの特徴と対応パッケージソフト, 降旗勝夫(システムプラザ株式会社), 32名

第17回(2002年11月22日)

ハイテク製造業におけるAPSパッケージ導入事例, 北澤英人(ベリングポイント(旧KPMGコンサルティング)株式会社), 33名

第18回(2002年12月20日)

Scheduling Based Due-date Estimationの1方法, 黒田充(青山学院大学), 35名

第19回(2003年1月24日)

リアルタイムAPSの導入事例とその効果, 野本真輔(構造計画研究所), 23名

第20回(2003年3月27日)

コンポーネントによる生産スケジューリングシステムの構築, 浦野幹夫(フレクシエ), 33名

第21回(2003年4月18日)

半導体工場におけるスケジューリングシステム適用事例, 前田智彦(富士通(株)生産技術本部), 45名

第22回(2003年5月9日)

適応型サプライチェーンマネジメントシステムの適用, 鈴木洋二郎(IBMビジネスコンサルティングサービス), 42名

第23回(2003年6月6日)

設備切り替えのあるシート生産工程におけるハイブリッド多目的スケジューリング法, 森田浩(大阪大学大学院情報科学研究科情報数理学専攻), 24名

第24回(2003年7月11日)

顧客主導型ビジネスモデルCSRとオーダ・コンフィギュレーション, 中野一夫, 濱田淳司(構造計画研究所), 21名

第25回(2003年9月10日)

多段複合型工程を持つ製品群に対する生産計画立案支援システムの構築, 竹野 健夫(岩手県立大学ソフトウェア情報学部), 26名

第26回(2003年11月21日)

21世紀型モノづくり“デジタルマニュファクチャリング”の構築, 渥美幸一郎(東芝 経営企画部次長), 26名

第27回(2004年1月23日)

JIT生産システムの進化への模索, 大野勝久(名古屋工業大学)

3. おわりに

下記のURLのWebページにて, 過去の研究会の講演概要並びに当日の配布資料などを提供しておりますので御参照下さい。

<http://www.prod.mng.toyo.ac.jp/~aps/>